



活水高等学校  
活水中学校  
No.67  
2026年  
4月14日



活ける泉

年間聖句  
希望をもって喜び、苦  
難を耐え忍び、たゆまず  
祈りなさい。  
ローマ 12章12節

希望を胸に、新たな一歩を

校長 石村 直義

桜の花が美しい春のさわやかさの中、新たな思いのうちに新学期を迎えられていることと思います。新入生の皆さん、この活水高等学校へようこそ、ご入学おめでとうございます。心から歓迎いたします。高校生活を活水生として過ごすことは、きっと人生の素晴らしい土台を作ることになる！と信じます。この大切な時期、皆さんが大きく成長され、自分自身と、皆さんの周囲の多くの方々と共に、将来にわたってしあわせが溢れますように。

2、3年生の皆さん、自分が入学したときのことを思い返しつつも、新たなスタートです。自分の描く目標の実現に向け、豊かな可能性をできるだけ花開かせて、自己実現を図りましょう！「わたし、輝く。ともに、輝く。」1年でありますように。

2026年4月5日(日)は、世界共通のイースター（復活祭）でした。イエス・キリストが十字架の死からよみがえられたことを記念し祝うキリスト教の大切な記念日です。活水学院は1879年12月1日、キリスト教(プロテスタント)の女性宣教師エリザベス・ラッセルによって創設されました。「知恵と生命との泉ー主イエス・キリストーに掬(むす)べよ」を建学の精神としてキリスト教信仰に立ち、聖書の御言葉(みことば)に支えられて教育の業を続けています。人が生きるために必要な知恵や生命を、決して尽きることのないイエス・キリストという泉から汲みなさいということです。創立147年目を迎える2026年度は「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい。(ローマの信徒への手紙12章12節)」という聖書の一節が学院聖句に掲げられました。この聖句にそって歩みます。

新しい環境や出会いには、希望を持ちつつ一方には不安もあるでしょう。しかし、皆さんは決して独りではありません。多くの方々が近く遠くに在ってあなたに寄り添い、想いを寄せてくださっています。何よりも神様があなたを愛し、豊かな恵みを注いでくださいます。私たち全教職員も心から応援しています。たくさんの可能性を皆さん一人ひとりがそれぞれ持っていますから、それを磨き、花開かせ、豊かな実を結ぶように、学んでください。

これから始まる1年間の歩みに神様の恵みと祝福がありますよう心から祈り願います。

中学お別れ行事～ありがとう中3～

中学卒業式の前日、3月11日(水)にシオンホールにおいて 中学3年生のお別れ行事を行いました。生徒副会長の挨拶、クイズ大会、卒業動画、中1と中2から縦割りグループの3年生にメッセージとマグカップ(生徒会)をプレゼントしました。卒業動画には、中3との中学特別行事の思い出や、赤組、青組に分かれ、縦割りで競い合った体育大会の写真が映し出されました。最後には、3年生一人ひとりがお別れの言葉を伝え、記念写真を撮り、拍手で中学3年生を見送りました。3年生一人ひとりのお別れの言葉には、3年間ともに過ごしてきたクラスメイトへの感謝の気持ちや、中1、中2に対するエールが込められており、会場全体が温かい雰囲気になりました。(古田匠紫)



中学卒業礼拝・卒業式

3月11日、卒業 礼拝を行いました。北見宗教主任から、東日本大震災で被災した生徒との出会いなどをもとに、卒業生に向けて「星のように輝いてほしい」とのメッセージが語られました。12日は第79回卒業式でした。石村校長が一人ひとりに卒業証書を手渡した後、「活水中学校での経験と成長によって得たもの、何より聖書を通して与えられた活ける水の恵みが、皆さんにはあります。感謝と喜びをもって輝いてください。」とメッセージを贈り、感謝の辞では、川野さんが、これまで支えてくれた両親を始めとするすべての人達への感謝の言葉を述べました。(平野智也)



感謝の辞 活水中学校第79回卒業生代表 川野 涼穂

3年前の春、私たちはこの場所で入学式を迎え、活水での中学校生活が始まりました。ほぼ初対面のクラスメイトと新しい環境に不安の気持ちをいただいていたのですが、共に過ごしていくにつれその不安はなくなり、今ではみんなが深い絆で結ばれています。

この3年間で振り返ると、たくさんの行事が行われました。人混みの中でも楽しんだ修学旅行、みんなで協力してつくりあげた活水祭、チームワークの大切さを学んだ球技大会やダンス発表会。どんな時でもみんなで一致団結し、楽しく取り組むことができました。こうして思い返すと、この3年間はあっという間に過ぎてきました。いつものたわいもない会話やふざけたりはしゃいだりしたこと、クラスメイトと過ごした時間は私にとって一生の宝物です。

お父さん、お母さん、私たちは今日無事に卒業することができます。これまでたくさん迷惑をかけたこともあったけど、お父さんとお母さんが大切に育ててくれたおかげで今の私があります。これからも温かく見守ってくれと嬉しいです。そしてクラスのみんな。この3年間一緒に過ごせてとても楽しかったです。うれしかったことだけでなく、大変なこともたくさんあったけど、このメンバーだったからこそ、乗り越えられたと思います。本当にありがとう。

私たち17人は、それぞれの未来に向かってこの活水中学校を卒業します。これからも活水中学校が希望に満ち溢れた豊かな場所であり続けることを願って、感謝の辞とさせていただきます。(要約：馬場彬)



2025年度  
学院聖句

「希望をもって喜び、苦難を耐え忍び、たゆまず祈りなさい」  
ローマの信徒への手紙12章12節

2026年度の学院聖句はローマの信徒への手紙12：12が選ばれました。この箇所はキリスト教生活における基本的なあり方を述べた部分の中にあります。新しく始まる年度、私たちはどんな希望をもっているでしょうか。希望をもつことで喜びがあるでしょうか。希望や目標があれば苦難を耐え忍ぶ力ができます。そして日々の忍耐は祈りへと変わっていきます。私たちの活水は希望をもって創設され苦難の中を生きてきました。2026年度に生きる私たちも同じように希望をもち、祈る学校でありたいと思います。(北見さとみ)

4月行事予定

5月行事予定

|       |                   |       |            |
|-------|-------------------|-------|------------|
| 7(火)  | 始業式               | 24(金) | 尿検査②       |
| 8(水)  | 新入生オリエンテーション②・入舎式 | 29(水) | 昭和の日       |
| 9(木)  | 入学式               | 30(木) | 高I眼科・耳鼻科検診 |
| 10(金) | 特別時間帯(新入生以外)      |       |            |
| 11(土) | 特別時間帯             |       |            |
| 12(日) | 特別時間帯             |       |            |
| 13(月) | 自宅学習日(新入生以外)      |       |            |
| 14(火) | 特別時間帯             |       |            |
| 15(水) | 特別時間帯             |       |            |
| 16(木) | 特別時間帯             |       |            |
| 17(金) | 特別時間帯             |       |            |
| 18(土) | 特別時間帯             |       |            |
| 19(日) | 特別時間帯             |       |            |
| 20(月) | 特別時間帯             |       |            |
| 21(火) | 特別時間帯             |       |            |
| 22(水) | 特別時間帯             |       |            |
| 23(木) | 特別時間帯             |       |            |
| 24(金) | 特別時間帯             |       |            |
| 25(土) | 特別時間帯             |       |            |
| 26(日) | 特別時間帯             |       |            |
| 27(月) | 特別時間帯             |       |            |
| 28(火) | 特別時間帯             |       |            |
| 29(水) | 特別時間帯             |       |            |
| 30(木) | 特別時間帯             |       |            |



## 第1回 全校探究DAY

3月19日(月)、本校チャペルで第2回探究Dayが実施されました。  
中学1年から卒業した高校Ⅲ年までの各学年代表が発表しました。  
(古田雄介)



〈生徒たちの感想文より〉  
○調べるだけでなくそれを相手にわかりやすく伝えることの大切さや難しさを感じました。(中一)  
○探究を通して少しでも興味を持ったり、おもしろいと思ったら調べてみることも大切なんだな。(中二)  
○Ⅲ年生たちの発表は探究発表で大学に入学しただけあって、プロフェッショナルという表現以外まるで見  
つからなかった。(高Ⅰ)  
○先輩がアプリを製作したように、行動に移して来年はもっと積極的に探究活動に取り組めたらいいな。  
(高Ⅱ)

## SPORTS DAY

「運動が得意な人も、そうでない人も、クラスのために全力を尽くすぞ!」という皆さんの意気込みがひしひしと伝わってくる試合でした。普段では見られないような名(迷)プレーで、感動あり、笑いありのとても楽しい時間でした。人間は太古の昔から、群れにいる色々な仲間を排除せずに助け合い、補い合って進化してきたそうです。だからこそ現在も存在し続け、多様性を大切にしていると  
言われています。「Sports Day」を通して、皆がそれぞれの感性で他者と繋がる楽しさを味わっていた  
けていたら嬉しいです。また今回、準備から審判まで、全てにおいて尽力して下さったバスケットボール部  
の皆さんに感謝です。  
(増田康子)



○高校バスケットボールの部  
優勝(ⅠA) 準優勝(ⅡC)  
○中学生縦割りチーム優勝(赤組) 準優勝(青組)  
○高校ドッジボールの部  
優勝(ⅡC) 準優勝(ⅠC)

## 長崎WOMAN DAYにて演奏

3月7日アミュプラザにて長崎WOMAN DAYが開催され、オープニング演奏をさせていただきました。  
たくさんのお客さんから拍手をいただきました。来年度はこのイベントがもっと大きく拡大され長崎で開催されるとのこと。演奏依頼もいただきました。  
来年度が楽しみです!  
(杉町たまみ)



## 日本管打楽器ジュニアコンクール

3月28日、昭和音楽大学ユリホールにて日本管打楽器ジュニアコンクール本選大会があり、録音審査で合格したクラリネット八重奏が出演しました。惜しくも入賞には至りませんでしたが真摯に曲に向き合い大変成長することができました。今後の活動に大いに活かしたいと思います。  
(杉町たまみ)



## 全日本アンサンブルコンテスト

第49回全日本アンサンブルコンテスト  
中学生(金管四重奏) 金賞  
高校生(フルート四重奏) 銀賞

3月21日(日)安田学園HBGホールで行われましたアンサンブル全国大会に中学・高校とも九州の代表として出場しました。この両方出場は活水始まって以来の快挙、また長崎県としても九州内でも初の快挙となりました。アンサンブルは3人以上8人以内の構成で編成されます。来年度は新中2が1名、新中3が1名です。そこで新たな形で活動を継続し、アンサンブル出場を続けていきたいと思っています。  
(杉町たまみ)



## Vリーグ 応援演奏

ウルフドッグス名古屋さんから依頼を受け、終了時の演奏と応援歌の演奏をさせていただきました。当日のハピネスアリーナは3000人を超えるほどの人でいっぱいでした。演奏者にまで観覧席も用意していただきプロのバレーボールを堪能することができました。大変素晴らしい機会でした。  
(杉町たまみ)



## 中学ダンス発表会

中学ダンス発表会は、3月5日に行われました。毎年恒例のマヅルカと創作ダンスを各クラスのダンス委員を中心に創作しました。今年のテーマは青春でした。中学1年生は、緊張していた中でも自分達らしいダンスを、中学2年生は、いくつかの曲を編集し、楽しめるダンスを、中学3年生は、テーマにふさわしい作品を披露しました。結果は、1位中3、2位中2、3位中1でした。  
(向井杏奈)



## 韓国研修

3月26日(木)から3月30日(日)まで韓国研修旅行に行きました。2日目は、淑明女子大学を訪問し、文化体験をしました。3日目は、ソウル第一貞洞教会での交流や、教会博物館見学の機会が与えられました。この教会には、ラッセル先生の時代に、活水学院の美術専攻の学生により作成された説教卓がありました。4つ作成され、活水学院・横浜指路教会・札幌教会・ソウル第一貞洞教会に贈られました。その説教卓がソウル第一貞洞教会では現在も礼拝で使用されています。同じメソジストの信仰の交流が古くからあったことがわかりました。活水から正式に貞洞教会を訪問したのは今回が初めてでした。とても歓迎され、今後も良い交流ができることを願っています。今回の研修を通して、生徒たちは、言葉や文化の違いを越えて温かく迎えてくださる方々と出会い、語り合う時間を通して、多くの学びを得ることができました。  
(北見さとみ)



〈生徒たちの感想〉  
不安も少しありましたが最初から最後まで新しいことばかりで4日間とても充実した日々でした。教会訪問や大学訪問など普通の旅行では絶対に経験する事が出来ない沢山のことを経験でき、とても有意義な時間を過ごせました。毎日が新鮮でとても楽しかったです。  
(徳永)

韓国研修を通して、日本と似ているようで多くの違いがあることに気づきました。文化や人々の考え方、空気感や公共のルールの違いを実際に体感することができました。参加を迷っていましたが、今では参加して本当に良かったと感じており、非常に貴重な人生経験となりました。  
(為田)

言葉も分からず、不安ばかりだったけど友達と沢山学んで食べて日本の良さや韓国の良さに気づき最高の経験になりました!!  
(松原)

## 大会等成績

〈中学吹奏楽部〉  
第49回全日本アンサンブルコンテスト  
中学生の部 金賞

〈高校吹奏楽部〉  
第49回全日本アンサンブルコンテスト  
高等学校の部 銀賞

〈個人〉  
PIARA国際ピアノコンクール九州Ⅰ地区大会  
デュオD 最優秀賞 IB 高野萌々香

(岩永崇史)